

## 2026年9月期 第2四半期決算説明会(オンライン) 質疑応答(要旨)

日時:2026年4月30日(木) 17:00~17:30

出席者(回答者):専務取締役 経営企画担当 西山裕

本決算説明会における主な質疑応答は下記のとおりです。

なお、記載内容につきましては、ご理解いただきやすいよう一部に加筆・修正をしています。

Q1 今後の成長に向けて、AIやDXを含めた業務効率化や成長加速に向けた具体的な戦略を教えてください。

A1 昨年からAIの活用については全社的に推進するための専門部署を立ち上げ、全社横断での業務効率化と、各事業ごとの最適化を切り分けながら施策を進めております。すでに一部領域では効果が現れつつあり、エンジニア領域のみならず、業務フロー全体の見直しにも取り組んでおります。これにより、人件費の適正化にも一定の成果が出ております。今後の採用計画についてもAI活用を前提に見直しを行い、収益性の向上につなげてまいります。さらに、当社事業においてはAIによるマッチング精度の向上も重要な成長ドライバーとして捉えており、各事業において最適な形で導入を進めることで、業績の拡大を図ってまいります。

Q2 2026年9月期の業績は上半期の実績および増配を踏まえると、通期の営業利益が計画を上回る可能性はありますか。

A2 上半期は売上面でやや弱さが見られたものの、コストコントロールを徹底することで利益水準を維持することができました。今後の事業環境について、国際情勢の影響は限定的と見ておりますが、やや不透明な状況があると認識はしつつ、売上をしっかりと伸ばしていきたいと考えています。コストに関してはAIへの取り組み等を通じて生産性の改善も期待しつつ、引き続きコントロールを継続して行ってまいります。以上を踏まえ、足元は開示している業績予想の範囲内で推移している状況とご理解いただければと思います。

Q3 2027年9月期は営業利益で約10%程の成長を想定していますか。

A3 具体的な数値については現時点では開示を控えさせていただきますが、基本方針として毎期の増収増益を着実に実現していきたいと考えています。各事業においては、一定の収益性改善の余地があると認識しております。一方で、直近1~2年は営業人員の採用を抑制しておりましたが、来期以降は売上拡大に向けて採用ペースの回復を検討しております。足元では、従業員の賃上げも重要な経営課題と捉えており、これに伴い人件費は過去数年と比較して増加する可能性があります。増収増益を実現していきたいと考えております。

Q4 社長の決算説明会への参加状況と今後の方針について教えてください。

A4 これまで半期ごとの決算説明会(対面型)には社長も毎回参加しておりましたが、今回以降については、私からご説明させていただく形としたいと考えております。これまで同様、足元の状況に加えて、先行きに対する見解についても適切にお伝えしてまいります。なお、IRに関する事項については社長含めた経営陣と密に連携し、投資家の皆様から頂いたご意見についても社内でも共有しております。今後状況に応じて対応することもありえますが、当面は私からご説明させていただく方針として今回から変更いたしましたので、何卒よろしくご願ひいたします。なお、個別の取材については、これまででも私が対応してきましたので、引き続き同様に対応してまいります。

以上